

ケツメイシ

「また来るで、ほんま！」
25周年、30回目の感動的な
城ホール公演

4月から始まった25周年ツアー【ケツメイシ 25th Anniversary TOUR ケツメンCAMP 2026】の大阪追加公演2日目。本ツアーで3ヶ月ぶり2度目の城ホールは、場外も場内もキャンプ色。ステージには木々が茂り、アスレチックのようなセットが組まれ、スタンド席の縁をぐるりと緑のリーフが囲み、まるで森の中のキャンプ場のよう。定刻になり、カントリー調のSEで一気に高まった客席。暖色のペンライトが揺れる様は、さながらキャンプファイアーだ。

ライブの幕開けは『HIGH JUMP』。のっけから特効の炎が吹き出し、RYO、RYOJI、大蔵は、動物やきのご姿に扮した16人のダンサーと共に熱くパワーを放っていく。さらに「Good morning 大阪！」という言葉から『One step』『歩いてく』を披露。セットや映像、照明、ダンサーの衣装、小道具を駆使し、1曲ごとの世界観をステージ全体で表現する。RYOは「4月からスタートしたおじさんたちの修学旅行。こんなに楽しいものだとは」とツアーの喜びを述べて「追加公演ということで曲も変わってきましたが、よろしくどうぞ！」と叫び、大ヒット曲『夏の思い出』へ。湧きま

る会場にサマーチューンを連投した。

この日は大阪城ホールでケツメイシとしての単独公演30回目という記念すべき日。大蔵とRYOはMCで感謝を述べつつ、客席の“ケツメ婚”をしたという夫婦や、親子で来場した観客と気さくにやり取りをして距離を近づける。最新アルバム『ケツノポリス14』に収録の『パワーオブボイス』『どうしようも無いぐらいい』『LIVE LOVE LAUGH』からは、“どれだけ世の中が移り変わっても、人が生きる上で大切なものは変わらない”というメッセージが伝わってきた。

中盤で披露されたお馴染みのコントもキャンプ仕様。コント中には『風は吹いている』『いい感じ』『Just for…』と曲を織り交ぜ、物語の世界観を心地良く広げていた。本編に戻り、家族や仲間と過ごす夏の景色を描いた『笑顔の大人達』、さらに『海』『海岸線サイダー』ですっかり夏休み気分。

最終ブロックはギアをアップ！カラフルなタオルが咲き乱れた『聞え！サラリーマン』、青春と情熱を歌った『走り続けた日々』、“人生は一度きりだから楽しんでいこう”と誘う『イエイエイエイエ』と、応援ソングでファンに寄り添う。キレのあるRYOのラップとRYOJIの美声、優しい大蔵の歌声が真っ直ぐに胸に飛び込んできた。本編最後は『LOVE LOVE Summer』。テンションMAXの会場は後方席まで大ジャンプ！

すぐさま起こったアンコール、1曲目は『我が者達よ』。人生訓のような歌詞に呼応して、観客は力強く両の拳を突き上げる。続く『子供たちの未来へ』では、RYOJIが1人の少年に向けてグッツのブレスレットを投げたのだが、小さな腕にはめ

SET LIST

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 01. HIGH JUMP | 13. 笑顔の大人達 |
| 02. One step | 14. 海 |
| 03. 歩いてく | 15. 海岸線サイダー |
| 04. 夏の思い出 | 16. 聞え！サラリーマン |
| 05. ヤシの木のように | 17. 走り続けた日々 |
| 06. お二人 Summer | 18. イエイエイエイエ |
| 07. パワーオブボイス | 19. 君とレゲエにデキられて |
| 08. どうしようも無いぐらいい | 20. LOVE LOVE Summer |
| 09. LIVE LOVE LAUGH | ENCORE |
| 10. 風は吹いている | 01. 我が者達よ |
| 11. いい感じ | 02. 子供たちの未来へ |
| 12. Just for… | 03. 君色 |

リクエストでセットリストを決める
スタジアムライブ開催決定!!

ケツメイシ 25th Anniversary

ふたご

「二五の夜」

～今夜だけ双子の兄が歌います～

2027年4月17日(土)・18日(日)

味の素スタジアム

詳細は☞ www.ketsumei.com

られたブレスレットの姿が会場のスクリーンに映し出され思わずグッときてしまった。そしてライブは『君色』で終了。メンバーは名残惜しそうに「また来るで、ほんま！」と手を振り、ステージを後に。。。子どもも大人も一体となって楽しんだ2時間半。人生の喜怒哀楽や機微が詰め込まれた楽曲に、子どもを「宝」だと言うあたたかな空気。親子でライブに訪れる人が多いのも頷けた。愛と思いやりとユーモアに溢れた、感動的な時間だった。🥰

